

教材名		『ふるさと山梨』の章・ページ	
Let's enjoy English No.②		第2章 P. 26, 27	
教科(領域)等	外国語科	学年(分野)	5年生, 6年生

1. 教材のねらいと概要

Welcome to~. This is ~.




- ・富士山の周りにあるものを紹介することができる。
- ・富士山の周りにあるものの名称やその様子等を英語で言うことができる。

英字のフォントは、児童が実際に書くものに近いものになっています。文字の提示をされるときは、英字の形にもご注意ください。

2. 活用例

教科名等	外国語科	単元(題材)名等	Welcome to Mt. Fuji.
活用場面		活用のポイント	
			時間
(1) 富士山の周りにあるものの名称を知り、相手に伝える。		<p>(1) 児童とのやりとりを大切に、児童の英語での発話を引き出すようにしたい。また、難しい表現で児童がわからないことが懸念される場合等は無理をせず日本語で行ってよい。</p> <p>① T:Yamanashi has No.1 tall(高いを表すジェスチャーをする) mountain. What's that? Ps: 富士山。 T:Mt. Fuji. There are many things around Mt. Fuji. What are they? 児童の既存の知識から引き出す。 児童が言った日本語を英語に直して、提示をする。(ALTの協力を得ながら)</p> <p>②資料のP26, 27を開き、確認をする。 Open your textbooks to page26 and 27. Look at A. This is a crater of Mt. Fuji, A~Hまで確認する。</p> <p>③ペアになり、富士山の周りで紹介したいものをきめ、ALTのところきて、紹介をする。 (ALT,JTEが分担することも可能) *冠詞については、児童は言えなくてもよい。教師は言えるようにしておく。</p>	30~45分 または (1), (2), (3)を15分ずつ分割して行うことも可能。
(2) 富士山の周りにあるものの名称を知り、相手に伝える。		<p>(2) ①形容詞 (big, nice, cold, clean, beautiful, calm)を示す。絵カードを作り、絵で状況がわかるようにするとよい。</p> <p>②(1)の②までは同じ流れ</p> <p>③ペアになり、富士山の周りで紹介したいものを決め、紹介をする。 Welcome to Mt. Fuji. This is an ice cave. It's cool. (1)の③に加え、そのもの様子を加えて、紹介する。 児童役、外国人役に分かれて行うことも可能</p>	
(3) 富士山の周りにあるものの名称を知り、相手に伝える。 (応用編)		<p>(3) ①canを用いて、資料を活用しながら、そこでできることを伝える表現を考える。</p> <p>②富士山観光センターとして、富士山の周りでどんなことができるかを伝える活動を仕組む。</p> <p>③外国人役とセンターの案内係に分かれ、富士山の周りにあるもの、その様子、そこでできることを伝える。</p>	

3. キャラクターの投げかけの意図と解答

ページ	投げかけの言葉	意図	解答例
P. 26 	Welcome to Mt. Fuji.	山梨県を訪れた人々に歓迎の気持ちを伝えることができる。	
P. 26 	Wow, How nice!	「なんて素敵なんだろう!!」という感嘆の気持ちを表す。 <How + 形容詞!> 「なんて~なんだろう」(感嘆文)	How beautiful! How wonderful! How cool!
P. 27 	This is (a,an)○○.	富士山の周りにあるものを伝えたり、その様子を付け加えて伝えたりすることができる。	This is a crater of Mt. Fuji/an ice cave/a shrine/a spring/a wind cave/ a forest/ a lake/ a path./ It's big/ cool/ beautiful/ nice/ clean/calm./